

まちづくりニュース

発行日：平成30年2月

発行：向ヶ岡弥生地区まちづくり検討会
文京区都市計画部地域整備課

第2回

向ヶ岡弥生地区まちづくり検討会を開催しました。

昨年の12月14日に第2回まちづくり検討会を開催しました。検討会では、各種資料を用いて地区の現況を把握した上で、2つのグループに分かれて地区の良い点と課題や懸念を話し合いました。

次回は2月に開催し、引き続き、地区の現況について話し合います。その後、まちを実際に歩いて点検などを行いながら、本地区で対応すべき課題を抽出していく予定です。

グループワークで出された主な意見

良い点	課題・懸念
<ul style="list-style-type: none"> ・都内なのに静かな町である ・緑が多い ・建物の高さが低い ・道路が広い ・暗闇坂の交通量が少なくなった ・歴史がある ・歴史を感じさせる建物がある ・ご近所の仲が良い ・子供が比較的多い ・東大や上野公園が周辺にあることで緑に囲まれている ・東大を利用・通行できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えている ・宅地の分割が進んでいる ・アパートやワンルームマンションが増えた ・高い建物が増え、日当たりが悪くなった ・コンビニ等の店舗が少ない ・歩道が狭い場所がある ・住宅地の割に人通りが多い ・崖や急傾斜地がある ・工事や工事車両が多い ・周辺に高い建物が建って、日当たりが悪くなった
など	など

お問い合わせ

〒112-8555 文京区春日一丁目16番21号

文京区 都市計画部 地域整備課 まちづくり担当 (担当：上野・野上・飛田野)

電話：03-5803-1848 (直通) メール：b402400@city.bunkyo.lg.jp

向ヶ岡弥生地区の歴史

明治時代の向ヶ岡弥生地区

向ヶ岡弥生地区の一部は、明治時代には警視庁の射的場でした。土族の反乱鎮圧などを目的に、大久保利通(内務卿)と川路利良(警視総監)が中心となり、上野の射的場の代替施設として明治9年(1876年)に建設を開始したと言われています。

その後、射的場は宮内省用地となり、すぐに民間の射的場になりました。社会情勢の変化に伴い、射的場等の施設は段階的に地域外に移転していき、それらが浅野家の敷地となり現在に至ります。

原祐一,向ヶ岡弥生町ニュースレターVol.4
(2013年3月1日発行)より一部抜粋し作成

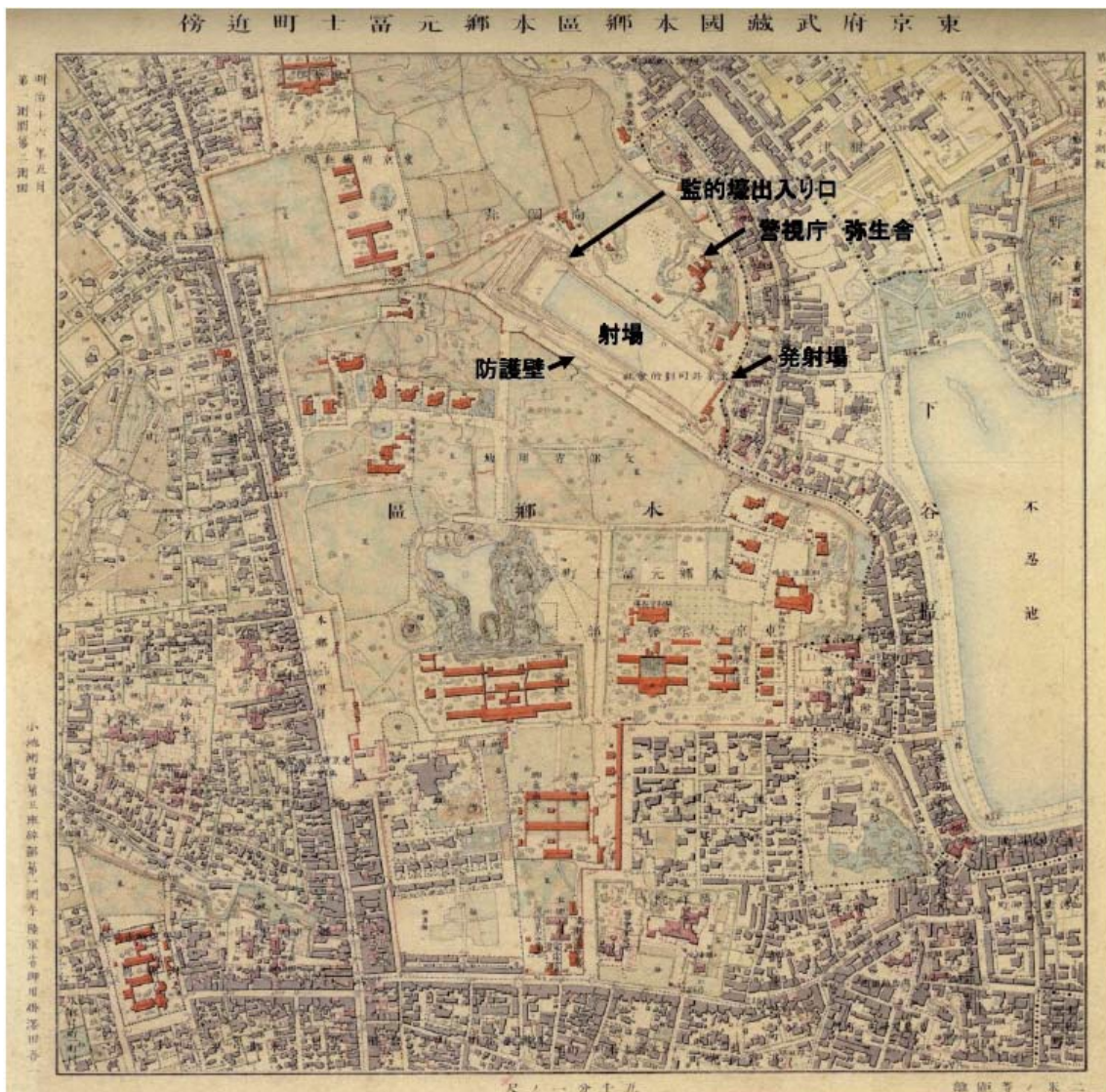


図:明治16年の向ヶ岡弥生町と周辺(向ヶ岡弥生町ニュースレターVol.4より引用)